ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)	区分・【新主題】/（分野）	授業形式
E1140010	重複障害教育総論　(Special Seminar in Education for Children with Multiple Disabilities)		

必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員
必修	2	3	教育学部			氏名　古賀　精治 E-mail　skoga@oita-u.ac.jp　内線　7521

授業の概要	まず重複障害、重度・重複障害、重症心身障害という概念について整理する。次に重い障害のある児童・生徒のための医療的ケアについて概説する。そして重複障害のある児童・生徒のための教育課程の編成の基本と指導計画作成のための考え方や手順について解説する。とりわけ自立活動についての理解を深める。

具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1	重複障害児の実態把握から指導の展開までの全体像について述べることができる。		○								
目標2	重複障害児の指導上の留意点について説明することができる。		○								
目標3											
目標4											
目標5											
目標6											
目標7											
目標8											
目標9											
目標10											

授業の内容

1	教育における重複障害及び重度・重複障害の定義と概念
2	医学・福祉における重症心身障害の定義と概念
3	重度・重複障害児に対する配慮や工夫
4	重い障害のある児童・生徒の呼吸障害の理解
5	重い障害のある児童・生徒の呼吸障害への対応
6	医療的ケアとは
7	医療的ケアの教育上の意義
8	重い障害のある児童・生徒のための環境の構造化
9	重い障害のある児童・生徒のための環境の構造化の実際
10	教育課程の編成：重複障害者等に関する教育課程の取扱い
11	特別支援学校学習指導要領における自立活動の解説
12	自立活動を主とした指導
13	実態把握と効果的な指導の展開
14	重い障害のある児童・生徒の問題行動の理解と対応
15	重複障害児と訪問教育

アクティブラーニング			その他の工夫
A:知識の定着・確認		バズ・グループ。	
B:意見の表現・交換	○		
C:応用志向			
D:知識の活用・創造			

時間外学修の内容と時間の目安	
準備学修	配付したプリントを事前に精読しておくこと（15h）。
事後学修	学習した内容を振り返り、授業で扱った内容や関連する課題について論文、書籍、インターネット等により「調べ学習」に取り組むこと（15h）。
教科書	教科書を指定しない。適宜、資料を配布する。
参考書	「特別支援学校学習指導要領解説　自立活動編」　文部科学省

成績評価の方法及び評価割合

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
期末試験	80%	○	○								
平常点（受講態度・授業への取り組み方等）	20%	○	○								

注意事項	配付したプリントはファイルにまとめ、授業の時に毎回持参すること。教員としての資質を身につける授業であるから、遅刻、無断欠席、私語、居眠り、携帯やスマホの使用、授業と関係ない書籍を読んだり作業をすること等がないこと（平常点で考慮）。
備考	なし。
リンク	URL